



**profile**  
土岐市観光ガイドの会 会長  
山内 博文さん

大手旅行会社にて全国各地で勤務。定年後、ふるさとをもっと知りたいと志願し観光ガイドの会へ入会。平成25年に同会の会長に就任。「皆さんとの出会いや活動が楽しい」と笑顔を見せる。

以前から窯元見学の需要はあり、このツアーのことを聞いたときは、地域ならではの企画で面白いと思いました。皆さんには手作りの味わいや、職人の技と思いを上手く伝えたいですね。質問や要望に十分に答えられるか多少の不安もありますが、(笑)お客様さまから学ぶという気持ちを常に大切にしたいです。窯や煙突、技術や慣習など時代の中で失われていくものがありますが、経済的な効率を求めただけでなく、地域の文化や歴史も大切にしたいと思っています。このツアーを通じて、土岐市ファン”になってもらえたらうれしいですね。



ガイドの会のメンバーは現在18人。市内の各イベント会場での観光案内のほか、史跡めぐりや街道ウォークの同行ガイド、陶磁器の歴史やふるさと学習の出前講座など、活躍の場は多数。土岐市の魅力を余すところなく伝えます。

## 土岐市ファンを増やしたい

## 観光ガイド



×

## 窯元



この地域ほど、窯元それぞれの個性や特色があるところは、全国ほかにないでしょう。ぜひ窯元まで足を運んでいただき、そこでしか手に入れることができないお気に入りの一品を見つけてほしいです。それこそがこのツアーの一番の醍醐味だと思います。ここ土岐市には、先人より受け継いだ世界に誇れる美濃焼と歴史、文化があります。試行錯誤は絶えませんが、それを窯元なりにどんどん発信していきたいですね。やきものを通じてそれぞれの町が一体となり、訪れる方を「おもてなし」の心で迎えられるらと思っっています。

藤山窯の代名詞とも言える“しのぎ”の技法。手作業で、精密な直線が等間隔に刻まれます。「これまでに作ってきた器の数?…数え切れないなあ」と加藤さん。確かな経験に裏打ちされた職人の技が光ります。



## 窯元の個性を感じて



**profile**  
だち窯やネット代表 (藤山窯・代表)  
加藤 賢治さん

地場産業の衰退に危機感を覚え、地域活性化のために駄知町の窯元10社で「だち窯やネット」を組織。平成24年より同代表を務める。「お客様の満足が第一」と精力的に活動中。



ガイド付き

特集

# 窯元めぐり



土岐市といえば、美濃焼。多くの皆さんがこのイメージをお持ちだと思います。でも、実際に窯元の職人が、一からやきものを作り上げる姿を見たことがある方はどれくらいいるでしょうか。この“ガイド付き窯元めぐり”では、あなたが知らなかった発見にきっと出会えるはず。やきものこと、そして土岐市のことをもっと好きになってもらいたい、そんな思いが込められた新企画です。

申・問 土岐たび案内所 (☎551123)

**ガ**イド付き窯元めぐりと実施する有料の窯元見学ツアーです。同会の会員である「土岐市観光ガイドの会」と「だち窯やネット」の協力を得て、平成29年11月より本格的に実施しています。ツアーでは、観光ガイドが皆さんを先導し、複数の窯元へと案内します。窯元へ到着すると、職人さんたちが温かくお出迎え。工房の中では、製作にかける熱意や工夫を聞くことができたり、ギャラリーでは、気に入った作品を購入したりすることもできます。観光ガイドが道案内をしてくれるため、初めて土岐市を訪れる方や、やきもの知識がない方でも安心して参加できるツアーです。やきものに興味がある方はもちろん、製造工程に関心がある方にもお薦めです。観光客向けの見学ツアーですが、市内在住の方の申し込みも大歓迎です。やきもの生産日本一を誇る土岐市。その土岐市ならではの見学ツアーを、あなたもぜひ体験してみてください。

井敏也さんが窯元めぐりを体験！

昨年11月下旬、土岐市観光大使である俳優の酒井敏也さんが駄知町を訪れました。酒井さんは、昭和34年同町の生まれ。実家が窯業を営んでいたことなどもあり、美濃焼との縁も深い方です。今回はそんな酒井さんに、ガイド付き窯元めぐりを体験していただきました。

まずは集合場所の南公民館で、観光ガイドの山内さんにご対面。あいさつを交わし、ここから窯元めぐりのスタートです。

和やかに会話を楽しみながら細い路地を進むと、5分程で本日最初の窯元、藤山窯に到着しました。町の南部に位置する、白い器を得意とする窯元です。

早速、案内された工房では、前のページでも紹介した、加藤さんによる「しのぎ」の技が披露されました。酒井さんは、間近で見る職人の手付きを、息を呑むような表情でじつと見詰めていました。この窯元めぐりでしかなかなかできない貴重な体験に、満足そうな様子でした。

次に向かったのは丹山窯。藤山窯から歩いてすぐの窯元です。

この窯の特徴は手書きで絵付けされたカラフルな器で

す。また、開放的な空間を生かしたギャラリーも人気です（2ページ写真）。

そしてこの日最後に訪れたのは南楽窯。すり鉢生産量日本一を誇るこちらの窯元では、すり鉢のくし目を付ける作業が見学できます。併設の「すり鉢ち館」も大変有名です。

窯元めぐりでは、普段の陶器まつりなどでは開放されていない窯場内まで入ることも可能なため、思わぬ発見に出会えることもしばしば。酒井さんも、興味深げに見学されていました。



各窯元へ向かう途中では、駄知の街並みに趣を感じながら、ゆったりと流れる時間を楽しめます。



真剣なまなざしで一点を見詰める酒井さん



南楽窯の窯場内。大小さまざまなサイズのすり鉢が製造されています。

窯元紹介

窯元めぐりで訪れる事のできる駄知町の7つの窯元を紹介いたします。



作家一人の工房ですが、織部を中心に独創的な現代陶芸作品、茶道具、食器の他モニュメントも製作しています。



志野・織部・黄瀬戸釉の食器や花瓶などを焼いています。「駄知印判館」では、明治～昭和の印判の器を展示しています。



すり鉢生産日本一のシェアを誇ります。併設する「すりばち館」では、土岐市の窯業の歴史を知ることができます。



手仕事ならではの温もりある器が特徴です。現在は陶器に天然素材である漆を塗る“漆陶”を中心に製作しています。



白い器を得意とする窯元です。“しのぎ”の技法しよまの技法で丁寧に彫られる縞模様が特徴の器を製作しています。



白磁と青白磁の人間国宝に指定された故塚本快示さんの遺志を継いだ当主が、格調高い器を製作しています。



手描きの絵付けにこだわりを持つ窯元です。窯元めぐりの窯元が加盟している「だち窯やネット」の事務局はこちらです。

申し込みから当日まで

参加費 一人1,000円

① ☎ 051123 (土岐たび案内所) へ電話

希望する日時、人数、交通手段などを伝えます。

② 観光ガイドから電話

日程や集合場所などを確認し、予約完了です。

③ 当日、指定された場所へ

集合場所で観光ガイドと顔合わせ。  
参加費(一人1,000円)を支払って、いよいよ窯元めぐりのスタートです。当日は動きやすい服装で参加ください。

テレビ番組で紹介されます

ガイド付き窯元めぐりの様子が岐阜放送で紹介されます。紙面では伝えきれなかった魅力を余すところなくお伝えします。ぜひご覧ください！



岐阜放送 「あなたの街から」  
2月15日(木) 午後6時～6時15分

“貴重”な体験ができる場所

全国的に見ても珍しい取り組みだと思います。自分がこの駄知町で過ごした頃と比べると、町や地場産業の活気が無くなってきていると感じますが、窯元の中に入るとまだまだたくさんの職人さんたちが働いてみえることに驚かされます。

窯元や職人さんそれぞれの個性を感じるし、そこにこのツアーの良さがあると思いました。窯元の皆さんがウエルカムな姿勢で出迎えてくださり、この地域ならではの貴重な体験ができる場所だと思います。

少し物言えば、竹皮羊羹かんでも食べて休憩しながらめぐるのもっと楽しくなるんじゃないかなと思います。(笑)

皆さん、地元こんな素晴らしい観光資源があるんですよ。ぜひお友達を誘って足を運んでみてください。私は東京でどんどんPRしていきますね。

土岐市観光大使 酒井 敏也さん(駄知町出身)